

子どもたちが生きいき暮らす奈良を紡ぎます



# ならつむ通信



vol.

5

特定非営利活動法人「青少年の自立を支える奈良の会」

平成28年9月1日発行

〒630-8114 奈良市芝辻町三丁目5-19 TEL/FAX 0742-33-2006 E-mail:arannoe@kcn.jp

## 法人理事長からのご挨拶

残暑お見舞い申し上げます。

立秋も過ぎ、暦の上では秋と言ってもいい時節ですが、まだまだ暑い日が続きます。しかしながら、夜半耳を澄ますと秋の虫が鳴き始めていますし、ここ奈良の地でもツクツクホウシの鳴き声が聞こえるようになってきました。

秋は確実に近づき、“とき(時)”の移ろいを感じさせられる今日この頃です。

おかげさまで、奈良の自立援助ホーム「あらの家」は設立から丸3年を経過し4年目を迎えました。

ここに至るまで、行政の支援はもちろんですが、正会員・賛助会員・団体会員の皆様をはじめ、様々な方々からのご寄付やご厚志を賜り、多くの機関や個人の温かいお志に支えられていることを、あらためて感謝し、この機会を借りて篤く御礼申し上げます。

ほんとうに多くの皆様から、ご配慮・ご尽力を頂いているのですが、一例を挙げさせていただくと、“おてらおやつクラブ”の方からはあらの子どもたちにたくさんのおやつを頂戴し、また西方寺の御住職からはお菓子の外、果物や海産物もたくさん頂いて、いつもありがたく感謝しております。さらにご住職である西域様から、折に触れお届けいただく激励のお言葉の数々。その中でも故東井義男先生のお言葉には、ときとして身がひきしまるものを感じます。たとえば『根を養えば樹は自ずから育つ』。さまざまな不遇な環境や、恵まれない生い立ちを背負っていることもある子どもたちのみならず、我が身を振り返っても、自身の腰骨を立てさせられる思いでこの言葉を受け止めております。現代社会にあって見失われがちな「人と人とのつながり」「基本的信頼感」が社会の根底にあるものと思います。

どうか今後ともよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

特定非営利活動法人「青少年の自立を支える奈良の会」

理事長：友廣 信逸

自立援助ホーム「あらの家」では  
子どもたちの支援の協力者を募っています。  
どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

口座番号

郵便 00950-328932

トクヒ) 青少年の自立を支える奈良の会

賛助会員	年会費	3,000 円
	学生会員	1,000 円
	団体会員	10,000 円





## 平成27年度 事業報告

### 1 青少年の自立を促進する事業

- ① 入居受け入れに関する主な相談 29件 見学受け入れ、アウトリーチを含む
- ② その他、メール・電話・面接による相談事業 25件（複数回やり取りあり）
- ③ 退居した児童の退去者支援（アフターケア）事業

おかえり活動	6名	計37回	電話相談	6名	計31回
出張面会・面接	3名	計5回	手紙のやり取り	4名	計23回
関係機関連携	7名	計35回			

（母親、父親、里親、弁護士、保護司、児童相談所、少年院、警察、就労先、家庭裁判所 等）

### 2 自立援助ホームの運営事業

- ① 毎月 第4木曜日 運営委員会及びケース会議を実施
- ② 生活支援・就労支援に必要な関係機関との連携
- ③ ステップハウス（自立前一人住まい練習） 開始 計1名

### 3 緊急一時保護事業

緊急一時保護を必要とする児童を受け入れる。計3名

7月（1名） 6日間 措置に変更 8月（1名）14日間 措置に変更

12月（1名）26日間 措置に変更

### 4 居場所 若者のしゃべりば事業

4月～6月に実験的に実施

### 5 子どもの問題の啓発事業

- ① ニュースレター「ならつむ」およびパンフレットによる啓発活動
- ② フェイス・ブック等電子通信による啓発活動 定期購読者 548名（平成28年3月31日現在）
- ③ 各種メディアを通じての啓発 奈良新聞記事掲載（平成27年6月29日）

地域コミュニティ月刊誌『さとびごころ』第22号（平成27年夏号）

## II 『あらんの家』の活動報告

### 1 入退居状況

入居児童 計8名（新規入居7名） 退居児童 計3名

### 2 ステップハウスの開始（平成28年3月22日入居開始）

関係機関との事前相談、不動産業者への交渉、ステップハウスの先行事例の検討  
ルールづくりと入居者との共通理解、契約、生活用品の購入、自立に向けてのトレーニング

### 3 スタッフ体制

ホーム長 浜田 進士

茶谷 知伸 平成26年4月1日 入職 齊藤 早苗 平成26年11月1日 入職 福間 堤二 平成27年5月1日 入職

### 4 運営のための会議

スタッフミーティング 毎月1回～2回

### 5 職員研修会

全国自立援助ホーム協議会、ホーム長会議、女性職員研修会、全国大会 新人研修会  
奈良連新任者研修、近畿・東海地区ブロック交流会、事例検討会への参加、他施設見学

### 6 地域関係機関との連携

- ① 自治会（自治会総会・連絡会・草刈作業・小学校の溝掃除・さくらまつり警護・防災委員担当）
- ② 奈良県こども家庭センター  
（奈良県中央こども家庭相談センター、高田こども家庭相談センター、奈良県こども家庭課、奈良県児童養護施設協議会、県立精華学院、里親会、奈良市子育て相談課）



- ③ ハローワーク 職場見学に同行
- ④ 奈良子若支援ネットワークへの参加（於：桜井市 株式会社やまと事務所）
- ⑤ その他

食事・泊りボランティアとの連携 奈良市・教育委員会・児童養護施設・里親・弁護士会・警察署（生活安全課少年係）・社会福祉協議会・家庭裁判所・調査官・調停委員・奈良家庭・少年友の会、保護司・就労先・大阪市こども相談センター、岸和田児相、京都宇治児相、基礎自治体・子家セン（家児室）・保護観察所、出身中学校、奈良県医師会、社会福祉士会、奈良県立教育研究所  
 定時制高校、全日制高校、通信制高校、宗教関係団体、おてらおやつくらぶ・奈良県就労支援事業者機構、  
 他の自立援助ホーム、ファミリーホーム NPOおかえり・香芝市障害福祉課、  
 社会福祉法人ぷろぼの、「非行」と向き合う親たちの会、各種病院・医療機関、民間総合福祉事務所

## 7 相談事業 電話相談 来所相談・メール相談

入居相談 29件 家庭内暴力、知的障害、児童養護施設不適応、施設内暴力、里親不適応、保護者養育拒否・補導委託（試験観察）、少年院出所後更生保護、就労にともなう居住先確保・無国籍児支援、養父との関係悪化、社会的入院、長期家出（家庭引き取り拒否）

## 8 視察・見学の受け入れ

## 9 ボランティアの受け入れ

食事ボランティア 4名 日直・宿泊ボランティア 5名  
 ホームページの作成ボランティア 1名 ボランティア研修会 8名（平成28年3月4日）

## 年間活動記録

月日	行動・行事・研修	月日	行動・行事・研修
4月4日	佐保川桜祭り警備のお手伝い	8月1日	発達障害についての研修会
4月5日	奈良県障がい者差別をなくす県条例記念講演会	8月2日	奈良クラブ 鴻池競技場 サッカー観戦 同行
4月12日	芝辻町3丁目自治会総会に参加	8月28日	大阪府立平野高校
4月27・28日	全国自立援助ホーム・総会 ホーム長研修会	8月28日	ろう学校デイサービス行事参加
5月1日	家庭裁判所堺支部	9月11日	朱雀高校 担任面談
5月14日	大阪府熊取町役場	9月12日	奈良市里親啓発シンポジウム参加
5月31日	H27年度総会	9月20日	あらのの家行事 バーベキュー（山城町森林公園と木津川）
6月10日	奈良新聞取材	10月1日	全国自立援助ホーム協議会全国大会（滋賀大会）参加
6月11日	奈良県子ども家庭課中央児相 社会福祉会 奈良県警 ケース会議	10月2日	司法分科会担当勢渡 司会浜田 オブザーバー友廣
6月18日	奈良少年鑑別所 面会	10月6日	中央児相・奈良県こども家庭課
6月19日	奈良県児童福祉施設連盟「新任職員研修会」	10月27日	職場訪問 同行
6月20日	奈良県児童虐待ネットワーク「きずな」	10月28日	平安高校 寄贈品受取
6月22日	奈良家庭裁判所審判同行	10月29日	中央児相 女子ホーム相談 就職活動 同行
6月27日	全国児童養護問題研究会 全国大会	10月31日	子どもシェルターぬつく設立シンポジウム（大阪弁護士会）
7月2日	大和育成園施設見学・研修	11月2日	自立援助ホーム ビッツユニットとの交流会
7月9日	奈良県子若支援機関研修	11月5日	奈良少年鑑別所 面会
6月27日	全国児童養護問題研究会 全国大会	11月12日	愛染寮 訪問
7月2日	大和育成園施設見学・研修	11月29日	大和中央高校講話（人権教育研修）
7月9日	奈良県子若支援機関研修	12月7日	大阪府内の病院へ（アウトリーチ）
7月16日	いかるが園施設見学研修	12月12日	奈良子若支援ネットワーク研修会 大淀町
7月19日	天理お祭りに参加	1月25・26日	全国自立援助ホーム協議会 初任者研修（東京）
7月21日	畝傍高校、朱雀高校担任面談	2月4日	入居に関するケース会議（香芝市役所）高田児相主催
7月27日	全国自立援助ホーム協議会 女性スタッフ研修	2月17日	大和中央高校 長尾谷高校 願書提出
7月30日	自立援助ホーム連絡会（ポ・ドーム）	2月18日	加古川少年院面会



## 年間活動記録続き

月日	行動・行事・研修	月日	行動・行事・研修
2月23日	全国自立援助ホーム長緊急学習会	3月18日	大和中央高校 入学説明会
3月2日	苦情処理研修 (大和育成園)	3月23日	保護観察所 ケース会議
3月7日	一時保護所見学	3月24日	奈良県庁 子ども家庭課 相談
3月9日	性暴力についての研修会	3月28日	退所者 自立支援資金貸付事業について 連絡会議
3月13日	京都 カラーナ 講演会 全国自立援助協議会と懇談	3月29日	長尾谷高校 授業料減免について相談
3月15日	精華学院 見学 飛鳥学院見学	3月31日	大阪一時保護所引率
3月16日	家庭裁判所 審判参加 奈良保護観察所 面談		

開設して4年目を迎えました。平成27年度7月から入居児童が急に増えて、平成28年2月～8月までは5名の児童が過ぎしました。これまでは就労して自立を目指すものだけでしたが、就学との両立を目指すもの3名(全日制1名、通信制2名)となったため、従来の就労支援・生活支援に加えて、入学手続き・学費減免手続き・宿題や試験対策などの学習支援・三者面談などが加わり、あらんの家の支援活動がより多様になりました。

5名になると2,3名の時よりは人間関係も変化します。子どもたちは日々気持ちが変わるため、業務日誌・各自の支援記録・毎朝9時から引き継ぎ作業が大切になります。就労先でほめられたこと・人間関係のトラブル、食事の好き嫌い、学校でのイジメ、児童相談所のケースワーカーからの連絡事項など。私は、スタッフから子どもたちの生活背景を教わることもあります。日々専門知識を学ぶことも大切ですが、24時間共に暮らすことからこそ、ゆらぎながらも聴くことができ、理解し合えることもあると信じています。

3月末にはひとり暮らしの練習として、ステップハウスも始めました。近くに家賃2万円のアパートに暮らし、食事・入浴・洗濯はあらんの家で行いながら、段階的に自立生活への移行を促すプログラムです。子どもたちは水道光熱費の引き落とし手続きを自分でいながら、自立生活の楽しさと大変さを学んでいきます。残念ながら、就労が継続できずにもどってきましたが、失敗を繰り返しながら、生活力を育てていきます。

5月以降は、ひとり暮らしを始める児童もあらわれました。アパート探し、契約手続き、初期費用の確保、保護者への同意書の依頼、生活備品の準備、引っ越し作業と一つ一つ進めていきます。ひとり暮らしを始めてみて、「初めて、あらんのスタッフが俺を支えてくれてたんやなあとわかったわ」と言われるとつい涙ぐんでしまいます。自立援助ホームが最も大切にしていることが「退去者支援」です。ホームを離れて生活するという次のステップに進んだとき、「困ったときはいつでも相談に来ていいよ」ということ＝彼らの「心の安全基地」になれるよう、転職・恋愛・結婚・子育てなどのライフイベントに伴走していきます。

..... ホーム長 浜田 進士(はまだ しんじ)

## 編集後記

最近、独身女性と関わる事が多いが、非正規雇用の方なら、当たり前のように時間を駆使しダブル、トリプルで兼業をして居場所を見つけ人生を謳歌されている方が多い。

それに比べ、若い男性では「社畜になる」ことを拒み、軽い仕事以外は家に閉じこもりゲームをしている男性も多いと派遣会社の方が嘆く。

ホームの子どもたちも、肉体労働に就く子は減多にいない。どんな時代も、女は生きていく力があることを痛感する。頑張り男の子！(S)